

# 協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.108



# 10月

発行 / 公益社団法人国際観光施設協会

総務委員会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋

2-8-5 多幸ビル九段2階

TEL03-3263-4844

FAX03-3263-4845

E-mail : kankou01@syd.odn.ne.jp

URL : <http://www.kankou-fa.jp>

2016年10月6日

## 活気ある国際観光施設協会

副会長 花又 昇

2015年のインバウンドは1,973万人と2,000万人に届く勢いで、2016年は7月で1,401万人と伸び率が26.7%と今年度は2,400万人を超える勢いです。

平成28年度当協会の総会が6月17日に三菱ビルコンファレンス・エムプラスで開催され、総会への出席者は正会員159名、セミナーは194名、情報交歓会は203名のご参加と活気がみなぎり盛大に執り行われました。2015年度の会員数は264社と年々増加となり収入も「国際ホテル・レストラン・ショー」や交流部会でのセミナー施設見学会等で、正味財産は¥3,085,522増加の¥21,714,560と2期連続の黒字となりました。セミナーでは三菱地所設計様の清水部長様からの「大手町連鎖型再開発プロジェクトの現状と今後の展開」で丸の内の歴史や大手町・丸の内・有楽町地区の街づくりなど有意義な勉強をさせていただきました。

8月6日からリオ・オリンピック・パラリンピックの熱い戦いが行われ、日本人選手が両大会で大活躍され2020年の東京オリンピックパラリンピックに弾みをつけたがパラリンピックでのユニバーサルデザ

インが気になるところです。国土交通省住宅局指導課から平成28年度内に「高齢者・障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計のあり方に関する検討委員会」で建築設計標準に向けた検討業務を実施する委員に当協会の中山相談役名誉会長が就任されました。また安心安全の面ではホテル・旅館への耐震改修に対する費用対効果を最大限に引き上げることが出来るようなコンサルティング活動を行う分科会を技術委員会の下に設置を行う予定です。

鈴木会長と観光庁の田村長官との対談での鈴木会長からの活動内容のピーアールで官公庁への認知度が高まりさらに活気が出てくることでしょうか。2017年度の観光庁の概算要求は前年の約1.6倍の約316億円とする方針で、インバウンド増加にむけて観光案内所や案内標識の整備、無料公衆無線LAN「Wi-Fi」の環境整備等の投資効果の高い事業がこれから急速に整備されることになると思われます。そこで技術集団である当協会会員の皆様が更に大きな活躍が出来ることを期待しています。

## 観光庁策定の「明日を支える観光ビジョン」と技術委員会活動

技術委員長 鈴木 裕

- 1. ホテル都市分科会** 観光ビジョンの滞在型農漁村の確立・形成という項目に、我々の活動「木づかいのこころ」が適合すると思います。その一つに間伐した3m105角の材を木道として美しく備蓄する「美蓄木道」活動があります。オリンピックで選手村に敷いてもらい、木材をとおして循環再生型経済の重要性を世界にアピールできれば、東京オリンピックのレガシーとなるのではないかと思います。もう一つの「木づかいの心」は「CLTによる変なホテル2」というCSV活動の成果として結実しました。
- 2. エコ・小委員会** 「観光庁・宿泊業の生産性向上推進事業」を観光庁から受託した日本生産性本部から再委託され実施しています。宿泊業の生産性向上推進活動では、投入するエネルギー量の削減とともに宿泊業の価値向上と新規商品開発を「エコ・小」の目標としています。小さなエネルギーで美しい生活をするという概念のもとで収益改善を行う「エコ・小」をさらに社会に広めようとしています。宿泊業の生産性向上という切り口は特に設備系会員にとってメリットのあるCSV活動と言えます。
- 3. 旅館観光地分科会** 観光庁により「アルプス山岳郷」が地域DMOに選ばれました。長野の山並みに点在する6か所の観光地で広域観光圏を形成し、アルプスのチロルに負けないような国際的山岳都市を作ろうという計画です。6地域全部性格が違いますから山岳をテーマにした多彩な楽しみ方のできるディステイネーションになります。地域の経済団体を中心に参加メンバーが充実しつつあり、多くの会員のCSV活動になると思います。
- 4. インテリア分科会** グローバル化が進むホテル・旅館のインテリアデザインは今、世界が注目する日本の伝統文化の感じられる要素を多く含んでいます。世界のマーケットで戦えるインテリア空間に反映していく為に、我々は日本の伝統的な施設をハードソフトの両面からCSV活動として調査研究しています。

## 建築部会の活動とこれから

建築部会長 崎山 茂

交流部会では建築、設備、インテリア各部会で開催している見学会を会員の情報収集、人的交流の場として継続的に開催しています。

建築部会では今年初めての見学会を浅草リッチモンドプレミアで行いました。地方創生に関わる「まるごとにつぼん」との複合施設です。新築の単体ホテルが減少していた昨今、インバウンド市況の好転により状況は変わりつつあるようだが、やはり新しい施設は立地や複合する機能の面白さを追求することが求められているようです。こうした観光施設の新しいあり方を共有する機会をこれからも増やしていきたいと思えます。

7月の水上セミナーに続き東京の観光資源を探る試みも続けていきます。

## 設備部会の活動とこれからの予定

設備部会長 小川正晃

設備部会は所属する会員企業の事業活性化と交流を図ることを目的に関連のワーキングを実施するとともに交流部会を開催しています。

今年度はメインテーマを、現在、当協会が取り組んでいる「旅館業の生産性向上推進事業」（日本生産性本部委託事業）とします。設備部会として、顕在化している旅館が抱える課題について検討する場を持ち、ホテルスを通じ旅館の生産性向上に役立つ提案をしていきたいと思えます。次回からは、ホテルスの展示内容などについても検討します。

また、従来からの設備部会のテーマである「環境」「エコ」「エネルギー」などについての知識を広めため関連ニュースの紹介・討議や施設見学を通じ、交流を図って参ります。

なお、今後の活動は下記の予定です。

H28.11. 1：第3回設備部会交流部会開催

H29. 1.23：第4回設備部会交流部会開催

H29. 3. 9：第2回施設見学会(場所未定)

## インテリア部会の活動状況とこれからの予定

インテリア部会長 寺本昌志

インテリア部会では6月8日に幹事会を行いスムーズな部会運営を行う為、各グループの活動予定の確認と共に名簿の更新をお願いしました。

また昨年度の新入会員の方々がグループ活動に参加頂けるよう、各グループに所属を割振り、声掛けのお願いを致しました。部会の活動状況としては、“企業見学”グループが7月27日に『DAIKEN 秋葉原テクニカルスペース』の見学会を35名の参加者で実施、“新情報発信”グループが9月2日に『ニッポン クリエイティブホテルを作ろう』というタイトルの研究会を69名の参加者で行いました。

今後の予定については“セミナー”グループが11月に“記憶に留めたい日本のデザイン” ホテルオークラ誕生の話 と題してセミナーを予定しています。“施設見学”グループでも見学候補を現在調整中です。

今後もこういった部会活動を通じ、会員の皆様により良い交流が持てるよう励んで参りたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

## 12月5日忘年交歓会の予告

年末恒例の忘年交歓会が12月5日(月)に九段下のホテルグランドパレスを会場に行われます。

今年のセミナーには、江戸文化研究者で法政大学総長の田中優子先生をお招きして、『江戸に見える「旅と異国の人」』をテーマに講演して頂く予定です。「お着物の大学教授」として高名な田中優子先生は、「江戸ブーム」の牽引役として活躍され、「江戸の想像力」「江戸百夢」「江戸を歩く」「江戸に学べ」「江戸から見ると」その他洒脱で辛口のエッセイを著して、多くの文学賞を受賞され、紫綬褒章も受勲されています。

セミナーでは、江戸から見る、今の日本の観光やインバウンドについて語っていただきます。田中優子先生のお話しをお聴きする前から、期待感が大いに高まります。セミナーに続く忘年交歓会では、会員相互の親睦を深め、皆様のネットワークを一層広げて頂きます。お楽しみとしては、例年に増して素敵な景品の当たるビンゴゲームで盛り上がりまして頂く予定です。こちらも乞うご期待。

忘年交歓会は12月5日月曜日です。

## 第45回2017国際ホテル・レストラン・ショーのお知らせ

ホテルス実行委員会 委員長 浅野 一行

第45回 2017国際ホテル・レストラン・ショーは、平成29年2月21日(火)～24日(金)、例年通り東京ビッグサイトにおいて開催されます。今回も、継続的に掲げている総合テーマ「日本のこころ」のもと展示とセミナーを行ないますが、展示は過去最大級の規模となり、交流部会や耐震研究会など新たなチームが加わります。

ホスピタリティデザインセミナーの主催も、例年にも増して充実した内容ですので、ご期待ください。

なお、今年度以降の会員の皆様のホテルスショーへの参加について、ご報告とお願いがあります。

昨年度からスタートした全協会会員によるCSV活動は、徐々に軌道に乗り、その成果が10月11日(火)のCSV活動中間報告会で発表されます。この全会員による活動をさらに徹底すべく、年間活動の総決算であるホテルスショーへ、個人・賛助会員を除く全協会会員に参加をお願いすることになりました。これにより、会員の皆様には、メイン参加：100,000円(企業展示・ショートセミナー・ゲートサイン・PR動画)、パネル参加：50,000円(パネル展示・ショートセミナー・ゲートサイン・PR動画)、CSV参加：20,000円(ゲートサイン・PR動画)の何れかのかたちでホテルスショーにご参加頂くこととなります。

どうか、当協会のCSV活動の主旨をご理解の上、CSV参加にご協力頂きます様お願い致します。

## 新入会員紹介 (入会順)

### **[賛助会員] つり橋の宿 山水観 湯川荘**

(代表者)代表取締役

齋藤元紀

〒390-1515 長野県松本市安曇 4196

TEL0263-93-2226 FAX0263-93-2321

営業内容: 温泉旅館

### **[個人] 鶴田邦久** インテリア・アントレー 代表

〒135-0016 東京都江東区東陽 3-15-11 T-Cat101

TEL03-3647-1185 FAX03-3647-2314

営業内容: 景観商品 製造・販売、インテリア・サイン商品、  
特注金物 製造・販売

### **[個人] 大下清和** (株)藤商コーポレーション 相談役

〒340-0164 埼玉県幸手市香日向 1-7-16

TEL0480-44-2258 FAX0480-44-2258

営業内容: 建設業(非住宅リニューアル工事)

### **[メーカー] 東京萬(株)**

(代表者) 武藤 馨

〒338-0837 埼玉県さいたま市桜区田島 8-15-15

TEL048-866-8660 FAX048-866-8677

営業内容: 輸入建築金物卸売、リニューアル事業

## ◎編集後記◎

本年28年度もCSV活動が活発に展開されており、10月11日に活動の中間報告会が行われます。協会の活発な活動に合わせて、新たに大変多くの方々にご入会頂きこの活動に積極的にご参加頂いておりますが、これからこの目標に向かって、各種交流部会で会員相互の意思の疎通を計りながら気持ちを一にして、全員で事業に取り組んで参りたいと思います。

Y . K

## 📷カメラ倶楽部主催📷

### 秋の古都鎌倉散策のお知らせ

今回は古都鎌倉の史跡の内長谷地区を散策します。長谷地区には高德院の鎌倉大仏、長谷寺の日本最大級木造仏、鎌倉文学館の建物の意匠や展示品など見どころが沢山あります。食事は風情あふれる古民家でイタリアン又はフレンチランチを楽しみます。

日 時:平成28年11月12日(土曜日)

集 合:鎌倉駅西口改札口(江ノ電乗車口側)

コース:鎌倉駅 - 長谷駅 ~ 高德院 ~ 鎌倉文学館 ~  
古民家レストラン ~ 長谷寺 ~ 御霊神社 ~  
長谷駅 - 鎌倉駅(解散)

詳細は別途お知らせいたします。ご参加をお待ちしています

## P 第107回ゴルフ会のご案内 P

恒例の国際観光施設協会の秋のゴルフコンペを下記のとおり開催致します。

日 時:平成28年11月17日(木)

コース:泉カントリー倶楽部(千葉県印西市)

プレイ費:約13,500円(キャディ付・昼食別)

各自精算

会 費:4,000円

コンペ終了後は表彰式と懇親会、賞品も多数用意しております。会員の皆様の親睦の場として、お誘いあわせのうえ、多くのご参加をお待ちしております。